

**インストラクショナルデザイン
における教材設計・教員育成用
教材作成支援
成果物概要**

株式会社ウチダ人材開発センタ

2014/10/10

概要

「職業実践専門課程」の普及を図るため、認定基準である企業・業界団体等との連携による教育課程の編成や演習・実習の授業運営等の好事例を示し、認定を目指す機運の醸成と教員の資質向上を図る研修モデルの開発・実証を行う

開発の目的

- 各学生の知識・技術等の習得度を高めるために、インストラクショナルデザイン（以下ID）を用いた体系的なカリキュラムの編成を行える教員の養成
- 社員教育にIDを導入している複数の実際の企業の事例を明らかにしIDに則った授業を行うことにより、学生の企業が求める社会人像への移行を促進できる教員の養成
- 産学連携による多様な教育方法を活用し、目標とする人材像に必須のスキル、もしくははその評価基準を可視化したシラバスの作成が行える教員の養成
- 教員同士が相互フィードバックし、教育設計を学びあう仕組みと土壌を作成する

構成

事前

- eラーニング：4時間
- 課題作成と提出：5時間

研修

- 集合研修：12時間

事後

- ID活用後アンケート：4時間
- 事例検討会：5時間

事前、事後を含めた研修の目標

- IDを用いて明確化された目標・学習項目の各項目を記述することができる
- IDの課題分析方法を用い、学習課題に適した分析を行うことができる
- 自らの持つ担当科目に於いてIDの課題分析法を用いて、ロードマップを作成できる
- ガニエの9教授事象、ケラーのARCSモデル、IDの5つの視点を取り入れた指導方略を考え、授業計画を作成できる
- 自担当の研修をIDで組み立て直し、その結果を他の教員と共有しディスカッションすることにより具体的なIDの使い方をイメージできる
- IDで組み立てた授業を実施し、それを振り返ってフィードバックを受けることにより、今後の課題を明確にすることができる

事前

- 集合研修で使用する教材を元にしたeラーニングでの事前学習（LMS上での受講）
- 受講履歴、進捗、小テスト結果が確認できる
- インターネットのクラウドサイトを利用した課題の作成と提出

eラーニング	4 h	課題作成と提出	5 h
インストラクショナルデザインについて	3 h	チェックリストによる確認	1 h
1.システムの教育設計の概要 2.目標設定 3.学習目標の分類 4.課題分析 5.授業計画の作成 6.教育の改善		自分の授業が今どの程度IDを取り入れられているかを確認する 1.出口 2.入口 3.構造 4.方略 5.環境	
企業のIDによる教育担当者インタビュー	1 h	ロードマップ作成	3 h
NEC キヤノン JTB		eラーニングの課題分析で学んだロードマップを自らの担当科目で作成してみる	
		提出とフィードバック	1 h
		1. クラウドにアップロード 2. 他投稿者の成果物の確認 3. コメントによるフィードバック	

集合研修

1日目：AM3h PM3h

1. システム的教育設計の概要

- IDの概要
- 何故IDを用いて教えるのか？－教員としての姿勢－
演習：現在の自分の授業・姿勢についてディスカッション
- IDの活用事例（学校での活用事例、企業での活用事例）
- 魅力的な授業の設計（IDの5つの視点、ARCSモデルの紹介）
- 学習システム（カリキュラム、シラバス、教材等）の設計・開発手順
演習：今の自分の学校の目標・カリキュラム・シラバスについてディスカッション

2. 目標設定

- 目標と目的の違い
- 目標の明確化の3つのポイント「目標行動／評価条件／合格基準」
- 目標設定の良い例・悪い例
演習：目標例の修正

3. 学習目標の分類

- 言語情報、知的技能、運動技能、態度、学習目標に応じた評価
- 評価の種類
- テストについて（前提、事前、事後）
演習：目標の分類と設定

2日目：AM3h PM3h

4. 課題分析

- 学習課題に応じた分析手法（クラスタ分析、階層分析、手順分析）、課題分析図とは
- 目標の分析による目標のブレイクダウン・詳細化
- ロードマップ作成方法
演習：自担当の授業の半期の目標設定
演習：目標の分析によるロードマップ作成

5. 授業計画の作成

- ガニエの9教授事象による授業計画の作成
- 指導方略とは
- ケラーのARCSモデル、ARCS-Vモデル、IDの5つの視点
演習：授業計画の作成

6. 教育の改善

- 形成的評価と総括的評価
- ADDIEモデルによる改善

7. 総合演習

作成したカリキュラム・シラバスの修正と発表
フィードバック
ディスカッション

事後

- インターネットのクラウドサイトを利用したアンケートの提出
- ディスカッションとインストラクターによる講評
- 作成したロードマップ、授業計画をデータベース化し共通の形式知とする

ID活用後アンケート	4 h	事例検討会	5 h
アンケートフォームによる提出	2 h	再提出	3 h
自分の授業でIDを取り入れた結果を確認し、回答する		研修後に作成したロードマップ、授業計画を修正しクラウドにアップロード	
1.科目		ディスカッション	1 h
2.実施方法		再提出されたロードマップ、授業計画をもとに、クラウドのサイトを利用してディスカッション	
3.評価			
4.学生の反応			
5.反省点			
6.感想			
他事例の研究	1 h	講評	1 h
他の教員のアンケート結果を確認し自担当の授業と比べてみる		インストラクターによる講評	
フィードバック	1 h		
コメントによる教員同士でのフィードバックを行い、今後の課題を明確にする			

12/18-19 実証講座

- 事前

- eラーニングは企業ID担当者インタビューを含まないプロトタイプを実施
- 提出課題は「チェックリスト」のみ、アップロード環境もプロトタイプ






- 実証講座

- 2日間の研修

- 事後

- 今回は実施しない（実証講座後に即IDを導入してみた方がいれば事例としてアンケート提出は可能）

タイムライン

	2014/10月	11月	12月	2015/1月	2月	3月
事前eラーニング作成 (実証実験用プロトタイプ)						
事前課題提出環境作成 (実証実験用プロトタイプ)						
実証講座の教材作成、修正						
実証講座 事前課題提示 (11/18) 実証講座 (12/18~19)						
最終的見直しと次年度以降への課題						
報告書作成					